

国内・海外

○印:国内関係 ☆印:海外関係

5日(水)○ 人口減、最大幅の50.5万人(0.4%減)

総務省が住民基本台帳に基づく人口動態調査を発表。今年1月1日時点の国内の日本人は1億2,427万1千人で、前年から約50万5千人減。マイナスは11年連続で、減少数、減少率とも過去最大。

12日(水)☆ 米欧GDP、4~6月期は戦後最悪

英統計局が4~6月期のGDP(季節調整値、速報値)を発表。実質で前期比20.4%減となった。米国が同9.5%減、ドイツも同10.1%減となるなど、米欧が軒並み最悪となった。

17日(月)○ 日本の4~6月期GDP、戦後最悪

内閣府が4~6月期のGDP(季節調整値、速報値)を発表。実質で前期比7.8%減(年率換算は27.8%減)と、新型コロナの影響でマイナス幅はリーマン・ショック後の09年1~3月期の同4.8%減(年率17.8%減)を上回った。

21日(金)○ 都市部地価、下落地点9倍に

国土交通省が4~6月にかけての主要都市100地区の地価動向を発表。下落した地区数は前回調査(1~4月)の4地区から、今回は9倍超の38地区と全体の4割近くに達した。

31日(月)○ 7月の宿泊者、前年同月比56%減

観光庁が7月の宿泊旅行統計(1次速報)を公表。国内の旅館、ホテルに泊まった人は前年同月比56.4%減の延べ2,258万人と、6月の68.9%減より回復したが大幅な減少となった。

県内・九州

★印:県内関係 ●印:九州関係

3日(月)★ (一社)長崎国際観光コンベンション協会、「重点支援DMO」に

観光庁は、全国のDMO(観光地域づくり推進法人)の取り組みを支援する本年度の「重点支援DMO」に、長崎国際観光コンベンション協会を選定。今回、全国で32法人が選定された。

5日(水)● 九州の設備投資、4年振り減

日本政策投資銀行九州支店が、20年度九州企業の設備投資計画を発表。前年度実績比で1.8%減の6,566億円となった。前年度を下回るのは4年振り。

12日(水)● 九州鉱工業、3カ月振り増

九州経済産業局が九州の6月の鉱工業生産指数(2015年=100、季節調整済)を発表。前月比0.9%増の85.2と3カ月振りの上昇。新型コロナの影響で13年1月以降最低値の5月に次ぐ水準。

26日(水)★ 2023年度着工を要望

九州新幹線長崎ルート未着工区間の新鳥栖-武雄温泉の整備を巡り、長崎県知事らが26、27日、政府・与党の要人に2023年度着工やフル規格での整備を要望した。

26日(水)● JR九州、新幹線で貨客混載

JR九州は、九州新幹線(博多-鹿児島中央)の一部列車を活用して佐川急便の宅配貨物を運ぶ「貨客混載」の実証実験を始めると発表。実用化を目指し、1年間かけて採算性を検証する。